

タウン・ミーティング



本年度3回目となる「タウン・ミーティング」を8月25日、市役所市民ロビーを会場に開催しました。合併により新市となった成田市の取り組みや、成田国際空港平行滑走路の北側延伸など、市としての課題や市長の考えを報告した後、参加した市民との意見交換を行いました。意見交換の主な内容についてお知らせします。

税金

市民 平成19年度から、国税から地方税に税源の移譲がありますが、税収としてはどのくらい増えてくるのでしょうか。

また、増えたものをどのような方面に使っていくのでしょうか。現在の国民健康保険などを減額してもらえたらよいのではと思います。

市長 一般会計でございますから、最終的に手続き上は議会で承認をいただくということになります。福祉や教育なども含め、皆さんのご意見を重要視しながらやっていきます。

市職員 税源移譲により、約10億円を増収を見込んでいます。

前納報奨金について

市民 前納報奨金が廃止されたが、どれだけの効果があったのか。目的は達成されたのか。

市職員 口座振替の普及ということもありますが、納税意欲の向上などの目的を達成したということでご理解いただきたいと思います。

成田ナンバーについて

市民 成田ナンバーのスタートということがありますが、成田ナンバーに750万円を投入するのはいかがなものか。

成田ナンバーを付けようと申し込んだが、運輸支局に行つて、新車と同じような手続きをしなければならぬ。市役所でできるようなものか。

市長 成田ナンバーをいろいろな形でPRしていきたいということでも積み上げた金額ですが、もちろん無理に使用するということはありません。

また、手続きについては、市内でできるよう取り組んでいたのですが、運輸支局の都合でできなくなりました。



成田ナンバーに愛着を

現在、出張サービスということで運輸支局に市役所に月に一度でも来ていただき、手続きできないか、あるいは各自動車販売店できないかなど、さまざまな角度から市民の皆さんにできるだけ手間を取らせることのないよう、方法を模索しております。

児童虐待について

市民 昨今、幼児・児童が被害に遭う事件が各地で起こっています。また、車に子どもを置き去りにしたまま、親がパチンコをしていて、熱中症や脱水症状で死亡するような事件も起こっているようです。成田市では、

子どもを虐待から守る対策をどうしているのか、お聞きしたいと思います。

司会 担当課から後日文書で公開とさせていただきます。

担当課からの後日回答文

児童虐待は家庭内で行われることが多いため顕在化しにくく、また、加害者が保護者である場合が多く、対応が難しいといった面も指摘されています。

本市においても、家庭における幼児や児童の虐待など多種多様な問題が発生している状況から、児童家庭課内に家庭児童相談室を設置し、専門的な立場から、児童に係る家庭の人間関係、不登校、非行、虐待などについての相談および支援を実施しております。

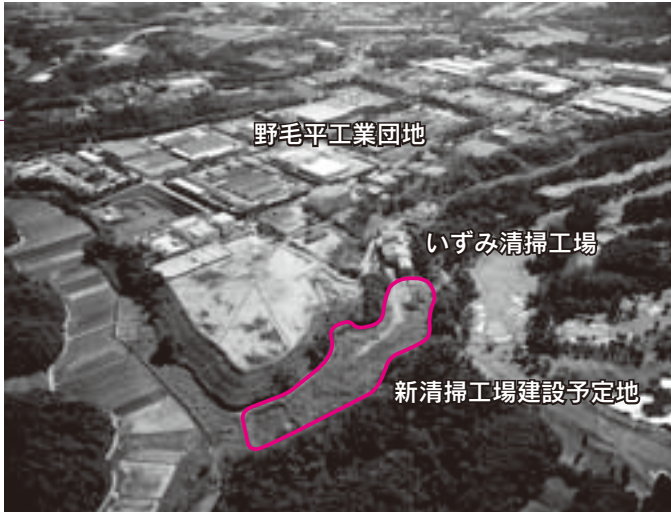
相談内容によりましては、県児童相談所、病院、警察署、学校、保育園、健康増進課、また、地域では、主任児童委員、民生委員などと連絡を密にして対処しております。

また、市の広報紙、

家庭児童相談室のパンフレットによる児童虐待防止についての意識の啓発、母親学級、乳幼児健診、保育園などによる子育てに関する講習、相談の強化、また母子保健指導、保育、教育、医療現場での早期発見などに努めております。

新清掃工場について

市民 成田市と富里市は共同で新清掃工場の建設を計画しています。ごみは新清掃工場で燃やすのですけれども、その灰の処理については、その共同事業の中に現段階で入っていません。



灰の最終処分場を成田市、富里市で別々に造るのではなく、最初は成田市に造り、そこが一杯になったら富里市に造るというような方法は採れないでしょうか。経費の面でも抑えることができると思います。灰の処理についても、共同でできないか、ぜひ、検討をお願いします。

市長 成田市と富里市で、新清掃工場の取り組みをしております。

騒音下の土地利用という観点から、成田市の野毛平の地先に新清掃工場を建設するというところで、相互の理解のもとに決定しました。したがって、これから新しい工場を造るということでございます。

ご質問の件に関しては、まだ富里市側からも、お話を受けておりませんので、いろいろとそれぞれ地域の立場もあろうかと思いますが、研究課題として、ご意見を承っております。

緊急通報について

市民 防災の日が近づきまして、8月27日には成田市の総合防災訓練がニュータウンの吾妻中で予定されております。市内には

高齢者も多く、救急車などをとつた場合に呼べない人が本当に多いのです。「暮らしの便利帳」という冊子の中には、どのようなに呼んだらいいかというようなことが書いてあるのですけれども、自分の夫が倒れたときや何かのときに、電話をしようと思っても慌ててしまい掛けられません。

電話を掛けても、相手側から「どうしたんですか」というようなことを聞かれても答えられないというようなケースが非常に多いのです。このようなときのために、電話のそばに張ることのできるマニュアルみたいなものを作ってもらえないでしょうか。

市長 見てすぐに行動できるようなものについては研究していきたいと思えます。

市職員 使用料の一部を負担いただきますが、高齢者の施策の中に、独居老人の緊急通報装置貸し出しの制度があります。日中、独居になる人も、成田市は特に認めております。ただ、それにはやはりお近くの人たちや民生委員さんとの連携など要件にもなりますけれども、ぜひ、ご相談いただけますようお願いいたします。

タウン・ミーティングの会議録は市役所1階行政資料室で閲覧できます。

次回のタウン・ミーティングは、次のおり開催します。

タウン・ミーティングは、広聴活動の一つとして日ごろ皆さんが市政に対して感じていることや望んでいることなど、より多くの生の声を市長が直接お聴きし、話し合いをする場です。

参加を希望する人は直接会場へお越しください。

- 日 時＝11月17日(金) 午前10時～正午
- 会 場＝市役所1階市民ロビー
- テーマ＝3年間の取り組みと今後の政策課題

※くわしくは市民支援課市民相談室(☎20-1507)へ。